



ツリーハウスつくりたい

ツリーハウスを増やして、お城にしよう！！

4回目の「ツリーハウスビレッジ・おだぎりガーデン」での春キャンプ。

3年前はツリーハウスを1棟つくり、2年前はとなりにステージをつくり、去年はツリーハウスの屋根と壁を強くして、これから先ずっと残してゆけるようにしました。

なので今年はいよいよ、新しくツリーハウスを1つ、みんなで建てます！！

そして今回は料理にもこだわります。パン、ローストビーフ、パエリア・・・薪の火とダッチオーブンを使ってごちそうを作り、森のランチ、ディナーを目指します。

そのほかウッドクラフト、アート活動、川釣り、夜のパーティーなどなど、おだぎりガーデンの森は遊びの宝庫です。

3・18(土)～20(月・祝)

ツリーハウスビレッジ・おだぎりガーデン

(栃木県那須郡那須町大字高久丙 4597-12)

●対象／ 宮城県気仙沼市在住在学 小学1年～中学3年 ●定員／ 30名(超えた場合は、抽選)

●参加費／ 10,000円(食費・活動費・保険代込) ※現地までの交通費は全額、当会で支援
(小学生 往復 約8,660円 中学生往復 約17,320円)

■往復スタッフが引率して送迎します(詳細裏面参照) 東北新幹線(新白河駅)利用。

■申込み締切り **2月24日(金)まで**

主催・申込み こども・わらずキャンプ楽会 東京都国分寺市北町1-17-6 代表/渡辺和浩

電話/ 080-5389-2888(19時以降) メール/ info@codomocamp.com

※氏名/学校名/学年/生年月日/住所/電話番号・PCからのメールを受信できるメールアドレスを明記して下さい。

【ホームページ⇒<http://codomocamp.com/>】

震災直後から気仙沼市で長期ボランティアを行っていたメンバーを中心に、11年の夏から12年までに、気仙沼・一ノ関で宿泊行事を9回、日帰り行事を12回開催。13年より以下の目的のもと、新たなこどもキャンプをスタートしました。 ●こどもらしく伸び伸びと、自身の事を見つめながら成長してゆける 場づくり、人間関係づくりの活動。 ●被災地のこどもが、被災体験を『負の記憶』だけにするのではなく、震災を機に始まったこの活動で『新たな人や体験、環境との出会いを得られた』と思えるような活動。 ●さまざまな地域のこども・大人が、被災体験の違いや暮らす地域で 分かれることなく出会い関係を作ってゆける活動。

【これまでのキャンプ】 2013夏 千葉館山市 / 2014夏 東京都奥多摩町 / 2015・2016夏 千葉県南房総市・白浜フลาวパーク / 2013・2014・2015冬 栃木県那須町・森林ノ牧場 / 2016冬 栃木県那須町・野外研修センター / 2014・2015・2016春 栃木県那須町・ツリーハウスビレッジおだぎりガーデン



3年前にみんなで作ったツリーハウス。今年もこれ以上のツリーハウスを目指します！！



**こんな料理を目指して・・・いろいろなごちそうにチャレンジ
食事すべて自分たちで作ります！**



森は遊びの宝庫！！



※プログラムは天候、
こどもの様子で変更有



集合・解散/迷迎

集合・解散場所～現地は往復スタッフが引率、乗車券も当会で購入します。列車は指定させていただきます。

※集合・解散の場所と時刻（予定・変更有）

気仙沼/JR一ノ関駅 23日 AM8:00頃・25日 PM18:00頃
仙台/JR仙台駅 23日 AM9:00頃・25日 PM17:30頃

キャンセルについて

お申込み後応募を取り消す場合

2月24日の申込締め切り前に必ずご連絡下さい。

申込み締め切り後のキャンセルの場合

①開催2日前までのキャンセル→

※乗車券の払い戻し手数料（1,000～1,500円程度）

②開催前日・当日のキャンセル→ ※乗車券代全額

宿泊/就寝

ツリーハウス、バンガローに宿泊します。就寝は室内で寝袋使用になります。

自分の気に入ったツリーハウスを選んで、木に抱かれながら寝ましょう。



入浴/モンゴリアビレッジ テンゲル（予定）

2日目の入浴で利用させていただきます。モンゴルの遊牧民の人たちの移動式住居『ゲル』を利用した宿泊施設。モンゴルからの直輸入のゲルや家具で、モンゴル気分が味わえます。利用させていただく温泉は、檜風呂、露天風呂もあります。



キャンプサイト紹介

ツリーハウスビレッジ おだぎりガーデン <http://www13.plala.or.jp/nasu-treehouse/>

広大な那須高原の大地の、オーナーセルフビルドのツリーハウスキャンプ場。せせらぎに囲まれ、夜は満点の星空、朝は小鳥のさえずり。小さな橋渡って入るツリーハウスや、4階建てのツリーハウスもあります。

キャンプの目的

子どもたちに、ひとりのおじさんが、たくさんのツリーハウスをつくった現場を見て「家だって自分の力で作れる！」と『自分の手で作る力・可能性』を感じてもらいたい。

今、周りにある物、目に見える風景、考えられることがすべてではない。今自分の周りにない物や風景も、自分たちで作る、変えてゆけるはず。

そのために、自分がやりたいこと、楽しい、すてきと思うことを見つけ、夢中になって続けてほしい。『自分の夢の実現』『意義ある実践』『既存の価値観にとらわれず、モノや場作り』をしている大人たちにとってほしい。

